

**平成 31 年度・令和元年度
認知症高齢者支援（高齢者虐待防止対策）事業
実施報告書**

令和 2 年 3 月

日野市健康福祉部高齢福祉課

【目次】

1.事業の概要

(1) 認知症高齢者の現状と平成31年度・令和元年度の基本方針	2
(2) 事業概要	4
(3) 運営体制	5

2.取り組みの内容

(1) 認知症対策推進会議の開催	8
(2) 認知症初期集中支援事業	9
(3) 「認知症を知る月間」の開催	11
(4) 専門部会の取り組み	19
1) 家族支援部会	19
2) 市民啓発部会	21
3) 多職種連携推進部会	23
(5) 次年度の事業の方向性	25

【資料編】

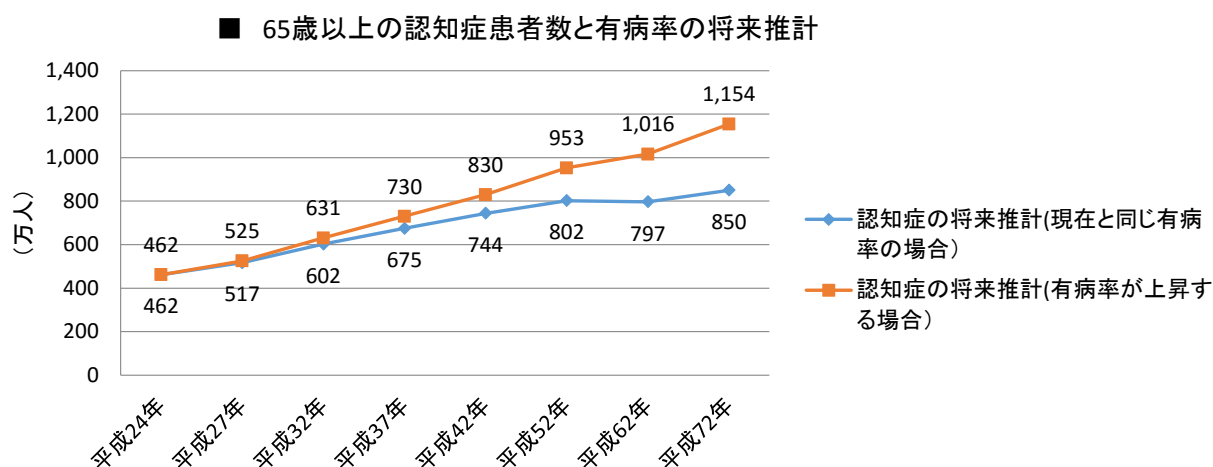
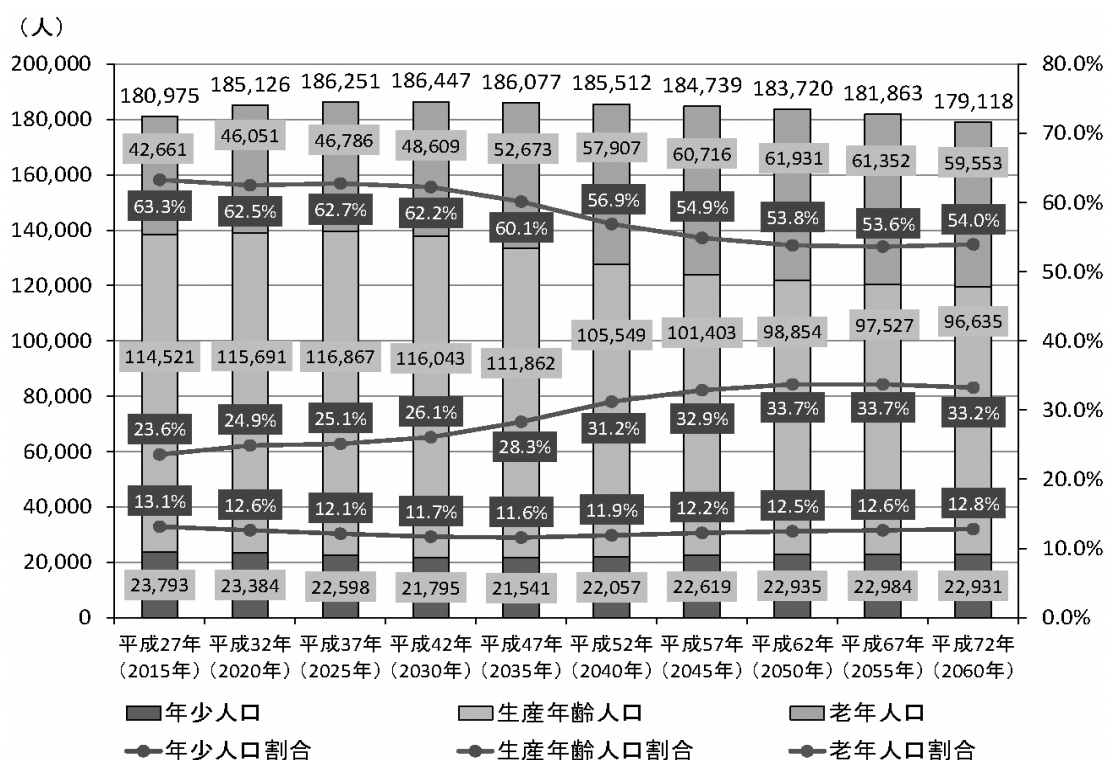
(1) アンケート結果	28
(2) 認知症家族介護者交流会実施実績	36
(3) 日野市の虐待受付状況	37
(4) 日野市の徘徊対応状況	38
(5) 認知症支援・虐待防止事業の取り組み状況	40
(6) 認知症を知る月間の広報物	41
(7) 認知症サポーター養成講座 開催実績	44
(8) 認知症サポーターステップアップ講座 開催実績	46

1. 事業の概要

(1) 認知症高齢者の現状と平成31年度・令和元年度の基本方針

1) 認知症高齢者の現状

- ・日野市の人口構成を見ると、高齢化率は上昇傾向です。平成37年(2025年)で高齢化率は25.1%、平成52年(2040年)で31.2%に達することが予測されます。
- ・認知症高齢者数については、国における認知症患者の将来推計によれば、平成24年の462万人から、平成37年には現在と有病率が同じ場合で675万人、有病率も上昇する場合では730万人まで増加することが見込まれています。そのため、日野市でも認知症の患者数は今後も増加していくことが見込まれます。

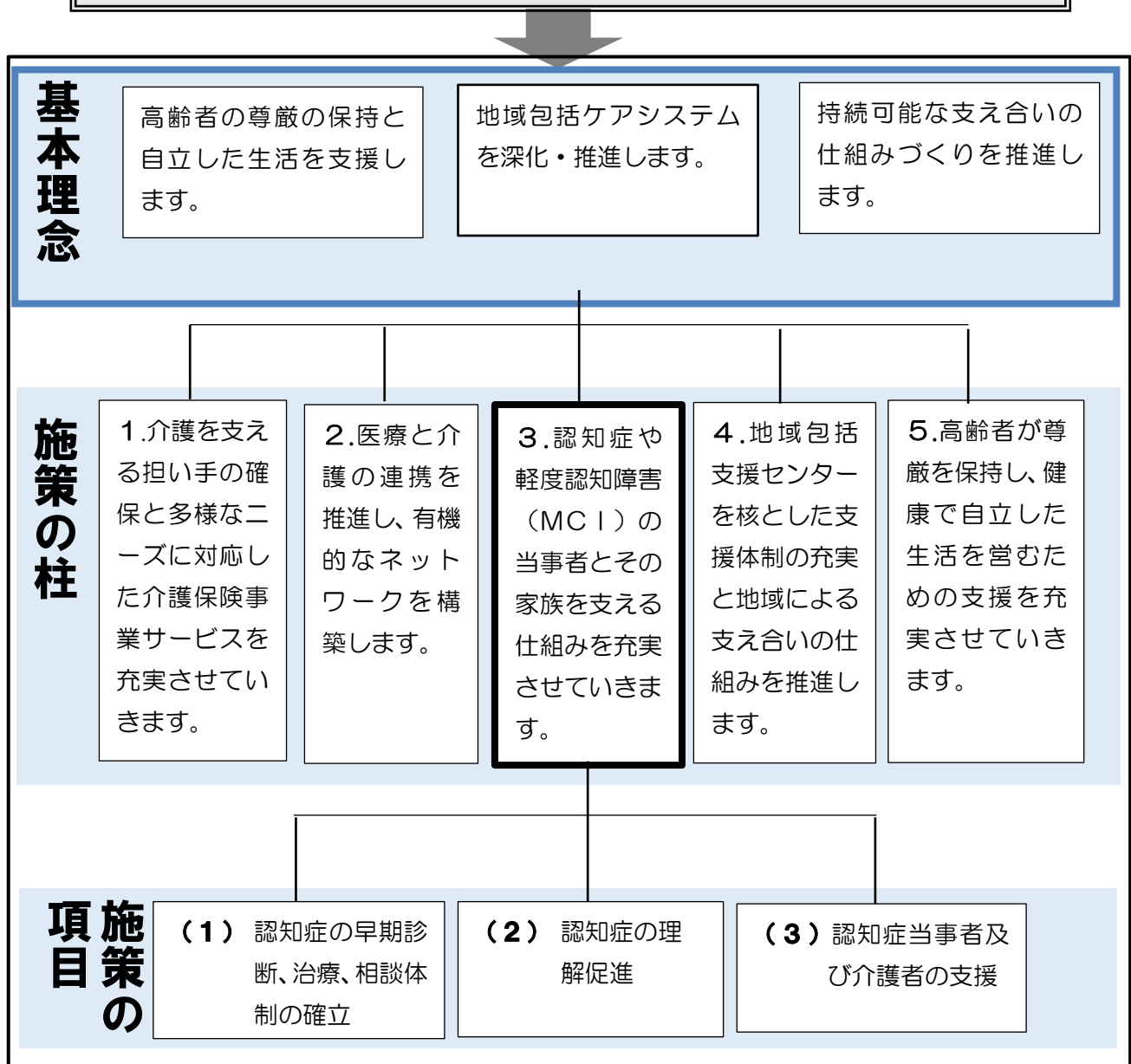


2)平成 31 年度・令和元年度の基本方針

日野市では、高齢者福祉・保健政策・高齢者の住宅政策の総合的な方針を、「第3期日野市高齢者福祉総合計画」として策定しています。認知症施策については、計画において、5つの施策の柱のうち1つに「認知症や軽度認知症（MC I）の当事者とその家族を支えるための仕組みを充実させていきます。」と定めており、認知症の相談、早期診断等総合的な支援体制の構築を図るとともに、地域全体で本人や家族介護者を支えていく体制の構築を目指しています。

目指すべき姿： いつまでも安心して暮らせるまち 日野

（第3期日野市高齢者福祉総合計画）（平成 30 年度～平成 32 年度）



(2) 事業概要

本事業は、国の示す新オレンジプラン（認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指すために7つの柱立てからなる認知症施策推進総合戦略）並びに前述の第3期日野市高齢者福祉総合計画をふまえ、市民による支援の輪を広げるための取組み、認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくり、認知症の人やその家族の視点やニーズを重視した取組みなど、幅広い事業展開をしています。平成31年度は、事業全体の運営方針を以下の6つに定めています。

【運営方針】

①「3つの柱」による取組みの推進

「家族支援」「市民啓発」「多職種連携」の3つの柱により取組を進めます。

②「諸力融合」による地域づくり

本人・家族、地域、関係機関と連携を図り、協働で認知症の方にやさしい地域づくりを進めます。※特に本人や家族の参画の推進を図ります。

③関係機関とのネットワーク強化

認知症地域支援推進員、地域連携型認知症疾患医療センター等との連携体制の強化を図ります。

④「認知症を知る月間」の開催

平成30年度に引き続き、効率的かつ効果的に認知症を広く啓発するため、「認知症を知る月間」を開催します。

⑤若年性認知症に係るネットワークの構築

東京都多摩若年性認知症総合支援センターが市内に立地していることを活かした連携体制の構築を図ります。

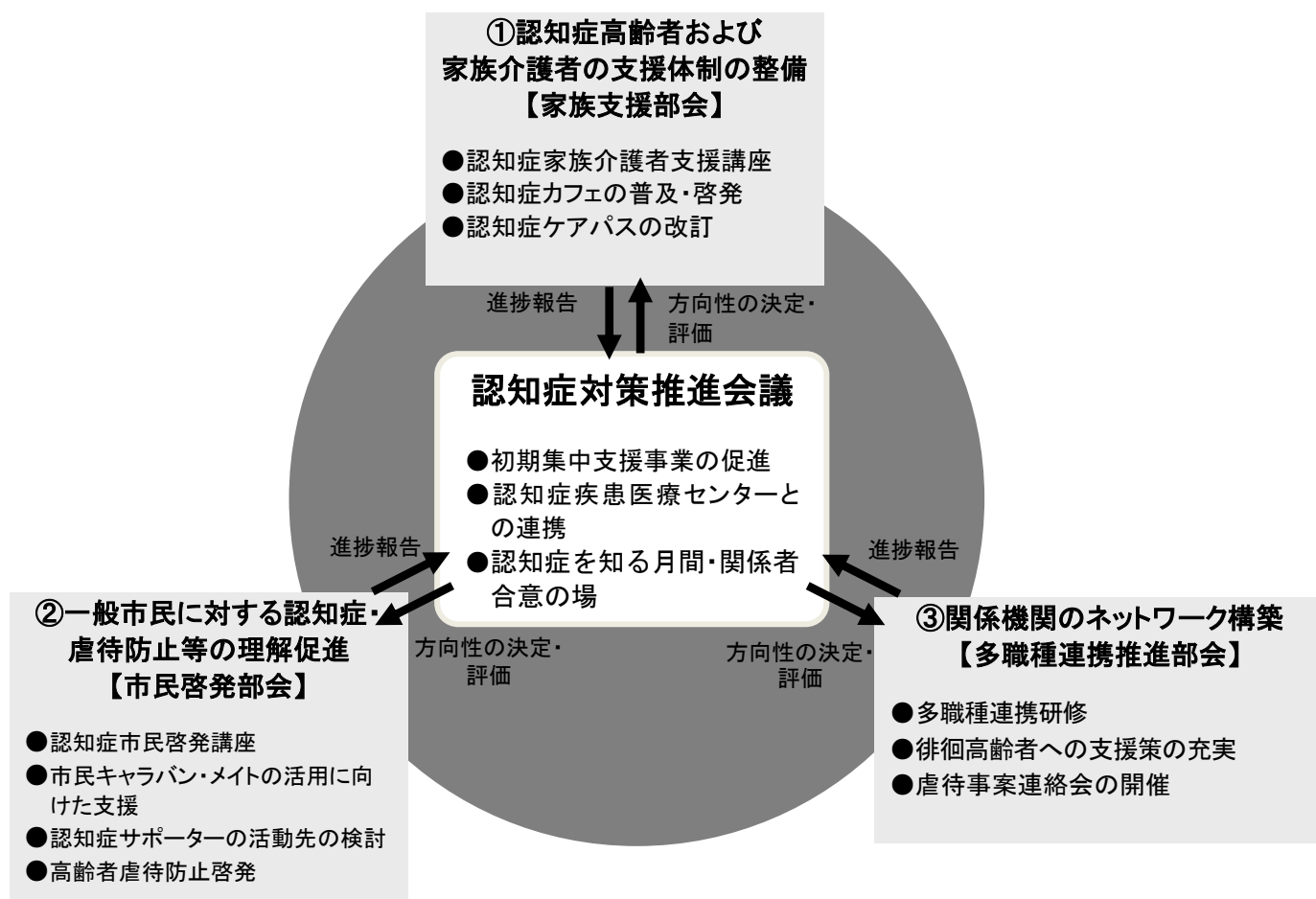
⑥市内認知症カフェの交流

市内で開催している認知症カフェ同士の交流と医療連携型認知症カフェとの連携体制の構築を図ります。

(3) 運営体制

「家族支援」「市民啓発」「多職種連携」の3つの分野ごとに専門部会を設置し、家族支援部会では「認知症高齢者および家族介護者の支援体制の整備」、市民啓発部会では「一般市民に対する認知症・虐待防止等の理解促進」、多職種連携推進部会では、「関係機関のネットワーク構築」を取組みの柱とし、地域包括支援センター（認知症地域支援推進員）と連携して、取組みを進めています。

(運営体制のイメージ図)



2. 取組みの内容

（１）認知症対策推進会議の開催

１）開催目的

本会議は、第３期日野市高齢者福祉総合計画に位置付けされている、認知症疾患医療センターを核とした認知症施策の検討及び医療サービスの提供、認知症初期集中支援チームによる早期発見・治療の推進、認知症地域支援推進員等による地域事情に即した認知症施策・事業・地域づくりの展開等の認知症施策を計画的かつ効果的に推進するための取組について、検討・企画・評価することを目的とした会議体です。

２）開催概要・成果

本会議は、日野市高齢福祉課及び市内９か所の地域包括支援センターに１名ずつ配置している認知症地域支援推進員を基本的な構成員とし、２か月に１回開催しています。

平成３１年度は、政府が発した「認知症施策推進大綱」に沿った理解を進めるとともに「認知症を知る月間」の開催等を中心に関係機関と連携し企画検討を図りました。また認知症初期集中支援チーム検討委員会では、事例を通し初期の段階の認知症の人に対する包括的・集中的支援の介入の重要性について共通理解を図りました。

３）認知症対策推進会議開催実績

	開催日時等	主な議題
第１回	平成３１年４月２２日（月）	平成３１年度事業運営体制について 認知症を知る月間に係る意見聴取
第２回	令和 元年６月１９日（水）	認知症を知る月間に係る方向性の確認
第３回	令和 元年８月２０日（火）	東京都多摩若年性認知症総合支援センターとの連携について
第４回	令和 元年１０月２４日（木）	「認知症を知る月間」の振り返り
第５回	令和 元年１１月２２日（木）	令和２年度「認知症を知る月間」企画案 認知症サポーター活動促進事業
第６回	令和 元年１２月２４日（火）	認知症初期集中支援チーム検討委員会
第７回	令和 ２年 ２月１８日（火）	令和元年度事業評価 令和２年度事業運営体制について



（２）認知症初期集中支援事業

１）実施目的

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的とした事業です。

２）実施概要

初期集中支援チームは、平成２９年７月に開院した多摩平の森の病院（地域連携型認知症疾患医療センター）に設置し、医師、認知症看護認定看護師、准看護師、介護福祉士（精神保健福祉士）４名による専門チームで組織されています。

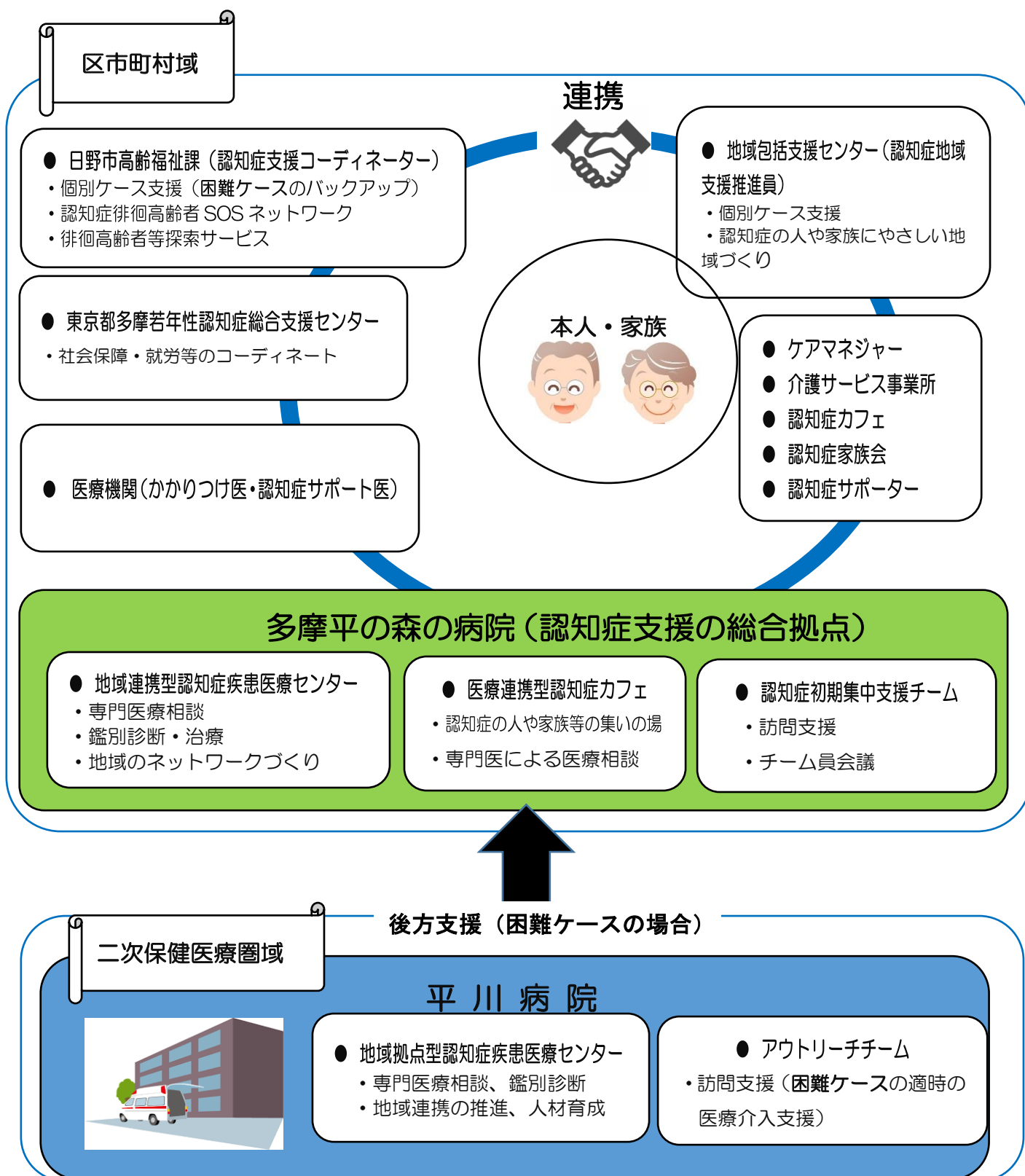
認知症が疑われる方で、治療につながりにくい方、医療サービス・介護サービスを受けていない方、治療を中断してしまった方などを対象に初期集中支援チームが集中的に訪問支援等を行い、早期に医療や介護のサービスにつなげ、対象となる方が地域で安心して暮らし続けられるように支援を行いました。

３）事業実績

認知症初期集中支援チーム実績（平成３１年４月～令和２年３月）		
	相談件数	訪問件数（件）
実数	１５件（初回相談件数）	４０件
延数	２０件	１２９件
主な相談内容 ・未受診、受療拒否など受診にかかわる相談・家族の介護負担等ケアに関わる相談・介護保険サービス拒否他		
終結の概要 支援対象者１６件（平成３０年度より継続含）のうち９件は、医療につながるなど、何らかの介護サービスにつながった。７件については、次年度へ継続ケースとなっている。		

４）事業評価

今年度相談を受けた支援対象者１６人（平成３０年度より継続含）に対し、延べ１２９回の訪問を行い、そのうち９件は、医療、介護サービス等につなげることができました。認知症初期集中支援チーム検討委員会では、事例を用いて、認知症の発症初期段階でチームを活用するメリットについて、グループワークを行い包括的・集中的支援の介入の重要性等について共通理解を図ることができました。



(3) 「認知症を知る月間」の開催

1) 開催目的

平成 26 年度から「認知症を知る月間」を開催し、今年度で 6 回目となります。

第 3 期日野市高齢者福祉総合計画で重要なポイントの一つと整理されている「認知症の理解促進と地域全体で本人及び家族介護者を支える体制の充実」のために、認知症を知る月間で開催される様々なイベントを通して、認知症が決して他人事ではないということを広く市民に啓発し、認知症に対する知識と理解を深め、市民が認知症の人、市の認知症への取組みに関わるきっかけをつくることを目的としています。

また、認知症を知る月間の開催にあたり、4 つの要点を設定するとともに、主体的に「輪を創る」という目的を市民に浸透させていくために平成 30 年度に引き続き「わたしたちの行動で地域の輪を創ろう！」をサブタイトルとして掲げています。

要点

- ①本人、家族からのメッセージ（思い）を直接市民へ届け、認知症を身近に感じてもらう。
- ②本人、家族、専門職、市民の視点を取り入れ、諸力融合で認知症の啓発に取り組む。
- ③無関心層を含めた市民自ら認知症に関わるきっかけをつくる。
- ④認知症を知る月間以外の認知症に関する取組との波及・相乗効果を高める。

2) 開催内容・成果と課題

イオンホールで開催した「市民啓発講座」においては、体験型のブースコーナーと「認知症の予防」について専門家から学ぶステージコーナーの 2 部構成で実施いたしました。七生公会堂で開催した「家族支援講座」では、前半では認知症当事者と家族介護者・支援者からのメッセージを届けることができました。後半では江戸川介護劇団による笑いあり涙ありの構成で、実際にあった事例を題材に認知症の介護の現実とそこに係わる人々のヒューマンドラマの実演を行いました。

i) 認知症市民啓発講座

開催日時	令和元年 9 月 8 日（日）10：30～13：00（開場 10：00）	新オレンジプラン
開催場所	イオンモール多摩平の森 イオンモール A・B	I－①
主 催	日野市高齢福祉課	V
主 管	日野社会教育センター	VII－③
参加者	130 名（主に市内在住・在勤・在学者）	

内 容	<第一部> 【ブースコーナー 10:00~12:10】 市内認知症関連団体による情報提供や体験ができるブース <table border="1"> <thead> <tr> <th>出展団体</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>多摩平の森の病院</td><td>パネル展示</td></tr> <tr> <td>日野市グループホーム連絡会</td><td>パネル展示とパンフ配布</td></tr> <tr> <td>オレンジカフェ +ゆざわここからネット</td><td>パネル展示</td></tr> <tr> <td>おしゃべりカフェ</td><td>認知症カフェ(占いコーナー)</td></tr> <tr> <td>福祉カフェテリア</td><td>パネル展示とパンフ配布</td></tr> <tr> <td>ぬくもりテラス</td><td>相談コーナー</td></tr> <tr> <td>認知症対応型通所介護事業所</td><td>パネル展示とパンフ配布</td></tr> <tr> <td>サービス提供責任者連絡会</td><td>相談コーナー</td></tr> <tr> <td>東京薬科大学</td><td>認知機能テスト体験</td></tr> <tr> <td>ひの健幸貯筋体操(ひの筋体操)</td><td>体操の紹介と体験</td></tr> <tr> <td>キャラバン・メイト</td><td>ラダーゲッター体験</td></tr> <tr> <td>日野市ジュニアリーダー講習会</td><td>ユニカール体験</td></tr> <tr> <td>日野社会教育センター</td><td>P P K体操の紹介</td></tr> <tr> <td>日野市内特養栄養士会</td><td>栄養相談・骨年齢・血管年齢測定</td></tr> </tbody> </table> 【ステージコーナー】 10:40~11:00…オープニングパフォーマンス 「空に響け! ヒノソング」 日野市ジュニアリーダー講習会とのっくん 11:00~11:30…みんなで歌う、けん玉サロン 音楽療法士 寺本美保 先生 ピアニスト 大井かつみ 先生 11:40~12:10…日本けん玉協会/日野社会教育センターけん玉道場  <第二部> 【パネルディスカッション】 12:30~13:45 認知症予防についてのパネルディスカッション パネリスト… 高橋龍太郎先生 (医学の視点：多摩平の森の病院 院長) 田中祥子先生 (疫学の視点：東京薬科大学 助教) 正木直子先生 (栄養学の視点：マザアス日野管理栄養士) コーディネーター… 細江容子先生 (老年学の視点：実践女子大学 教授) 	出展団体	内容	多摩平の森の病院	パネル展示	日野市グループホーム連絡会	パネル展示とパンフ配布	オレンジカフェ +ゆざわここからネット	パネル展示	おしゃべりカフェ	認知症カフェ(占いコーナー)	福祉カフェテリア	パネル展示とパンフ配布	ぬくもりテラス	相談コーナー	認知症対応型通所介護事業所	パネル展示とパンフ配布	サービス提供責任者連絡会	相談コーナー	東京薬科大学	認知機能テスト体験	ひの健幸貯筋体操(ひの筋体操)	体操の紹介と体験	キャラバン・メイト	ラダーゲッター体験	日野市ジュニアリーダー講習会	ユニカール体験	日野社会教育センター	P P K体操の紹介	日野市内特養栄養士会	栄養相談・骨年齢・血管年齢測定
出展団体	内容																														
多摩平の森の病院	パネル展示																														
日野市グループホーム連絡会	パネル展示とパンフ配布																														
オレンジカフェ +ゆざわここからネット	パネル展示																														
おしゃべりカフェ	認知症カフェ(占いコーナー)																														
福祉カフェテリア	パネル展示とパンフ配布																														
ぬくもりテラス	相談コーナー																														
認知症対応型通所介護事業所	パネル展示とパンフ配布																														
サービス提供責任者連絡会	相談コーナー																														
東京薬科大学	認知機能テスト体験																														
ひの健幸貯筋体操(ひの筋体操)	体操の紹介と体験																														
キャラバン・メイト	ラダーゲッター体験																														
日野市ジュニアリーダー講習会	ユニカール体験																														
日野社会教育センター	P P K体操の紹介																														
日野市内特養栄養士会	栄養相談・骨年齢・血管年齢測定																														

成果と
課題

[成果]

- 会場には常に人がいる活気ある雰囲気がつくられた。
- パネルディスカッションは会場にいる人全員で考える機会を作ることができ、「どう老いて、どう生きるか」というテーマまでに発展したいい議論だった。
- 認知症に関する多職種が交流する場にもなりえた。

[課題]

- 出展数に対して会場の面積がやや狭かったとの意見あり。
- パンフレットコーナーの量が多く、持って帰るのが大変なので袋が欲しいというリクエストがあった。
- 1名も来場者が来ないブースがあった(相談コーナー)。
→イベントの趣旨と出展者の意図を更にすり合わせていくことが望まれた。



ii) 認知症家族支援講座

開催日時	令和元年9月21日(土) 13:30~15:30 (開場: 13:00)	新オレンジプラン
開催場所	七生公会堂	I-①
主催 主管	日野市高齢福祉課 日野社会教育センター	IV-② VII-①
参加者 (対象)	109人 一般	
内 容	第一部 「認知症当事者の方と介護家族者、支援者からのメッセージ」 (13:30~14:10) 認知症に係わる様々な立場の人が直接お話 登壇者: 家弓 様 (コーディネーター) 家族介護者 若年性認知症当事者 休憩 第二部の会場設営(14:10~14:25) 第二部 江戸川介護劇団「たなごころ」による上演 「私、お先にゆきますわ」(14:25~15:25) 舞台演出 斎藤恵輝 様 他29人(内こども6人) 閉 会 (15:30)	
成果と 課題	[成果] ・1部出演者の演題に興味を持っていただける40,50歳代の年齢層があり、企画としても興味をひくものになった。無関心層の方に成果があった。 [課題] ・認知症月間企画の内容に男性の関心度を意識した取り組みを考慮する必要がある。 ・今後の講座内容に望むことに、メンタルヘルス、医学的知識、専門家による介護技術の伝授の希望が毎年ある。	



iii) 各種イベント

●無料医療相談会

認知症専門医相談会			新オレンジプラン	
開催日時	令和元年9月2日（日） ①10:30 ②11:30 ③13:30 ④14:30			V
開催場所	多摩平の森の病院	主催	多摩平の森の病院	
参加者 （対象）	2組 （認知症のご本人とその家族、一般）			
内 容	認知症を心配している人や、対応に悩んでいる家族の方向けに、専門の医師が個別に面談し相談のできる会。			
成果と 課題	[成果] ・だれでも相談できるという点ではよい企画ではあるが、日常的に相談場所が増えている、という点もある。 [課題] ・今年度初めて認知症専門医である医師の相談を試みたが、参加希望者が少なく、次回への取り組みは、要検討をする方向で考える。			

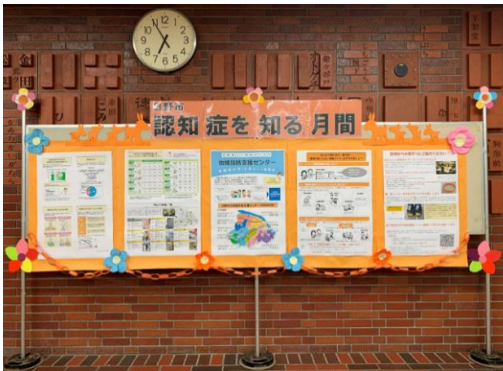


●RUN 伴ひの 2019 応援者募集

開催日時	令和元年9月7日（土）9：00～	新オレンジプラン
開催場所	【START 地点】 ・北コース…日野中央公園 ・南コース…ボンセジュール日野 【GOAL 地点】 TomorrowPLAZA てとてお広場	I -① V Ⅶー①
主催	RUN 伴ひの 2019 実行委員会	
参加者 (対象)	ランナー 43 名(一般市民)	
内 容	認知症の本人や家族、支援者等の市民が市内のコースをタスキをつなぎながらリレーする。リレー応援参加。日野中央公園・ボンセジュール日野をスタートし中継24カ所回る。	

成果と 課題	[成果] ・ 支援関係者が参加され、認知症カラーであるオレンジ色のＴシャツを着て市内を走れたことは、市民へのPRになった。 [課題] ・ 実行委員だけでなく包括と連携をとることで、もっと周知できたのではないか。 ・ 当日の応援者の参加者はなく、周知の時期、市民の需要について次年度に向けた検討が必要。 
-------------------	--

●認知症についてのパネル展示

開催日時	i) 令和元年8月31日(土)～9月30日(月) ii) 令和元年9月3日(火) iii) 令和元年9月4日(水)～9月30日(月)			新オレンジプラン
開催場所	i) 市役所1階ロビー ii) イオンモール1F センターコート iii) イオンモール2F グリーンパーク ストピック横	主催	日野市 高齢福祉課	I-① V VII-①
内 容	① 認知症を知る月間ポスター ② 認知症について ③ チェックリスト・オレンジ広場一覧 ④ 地域包括支援センターの紹介 ⑤ 高齢者虐待防止ポスター ⑥ 認知症サポーター・靴シール・日野市行方不明者情報メールの登録について			
	 i) 日野市役所1Fロビー			
	ii) 1Fセンターコート (イオンモール多摩平の森) 			
	 iii) 2Fグリーンパークストピック横 (イオンモール多摩平の森)			

●図書館や書店での関連図書の紹介

開催日時	令和元年9月1日（日）～9月30日（月）			新オレンジプラン
開催場所	【図書館】 日野図書館 百草図書館 平山図書館 ※9/30(月)休館日 【書店】 啓文堂書店 高幡店 未来屋書店 多摩平の森店	主催	日野市高齢福祉課	I－① V
内 容	認知症関連書籍を図書館・書店内の認知症コーナーにて紹介			

(4) 専門部会の取組み

1) 家族支援部会

平成 30 年度からの課題

- ・医療連携型認知症カフェの医療バックアップ体制を、各地域の社会資源（認知症カフェ、ふれあいサロン等）で受けられるような体制の構築。
- ・認知症ケアパスがより効果的に機能するツールとなるような改訂スケジュールの作成。

平成 31 年度・令和元年度 取組み内容

平成 31 年度・令和元年度 取組みの柱

認知症高齢者および家族介護者の支援体制の整備

① 認知症家族介護者支援講座の実施・協力

〔意図〕精神的な介護負担の軽減を図り、安心して介護を継続できている。

〔成果〕今年度は新たな取組みとして介護劇を取り入れたことで、介護者が認知症の初期から段階を経て受容していく過程等を分かりやすく伝えることができた。アンケートでは、6 割は「不安が軽減された」、8 割は「周囲の理解や協力を得る大切さが伝わった」と回答しており、安心した介護につながっていると考えられる。

② 認知症カフェの普及・啓発

〔意図〕市全体として認知症カフェの現状を把握すること・

市民に向けて周知の方法を検討すること

〔成果〕市民に受け入れられやすいよう、「認知症カフェ」から「オレンジ広場」に名称を変更し、市民への周知方法の一つとして『「オレンジ広場」一覧』を作成した。『「オレンジ広場」一覧』を様々な講座や会議体等で、市民や関係機関に幅広く配布し周知を図った。

また、オレンジ広場交流会を初めて実施し、各オレンジ広場がどのような取組みを行っているのか現状を把握し、情報共有を行った。

③ 認知症ケアパスの改訂

〔意図〕誰でも気軽に手に取れ、理解できるケアパスになるよう見直しを行う

〔成果〕来年度発行に向けて、家族支援部会や推進会議内で中身の検討を行った。

専門部会の開催実績		
回	開催日	主な議題
1	平成31年4月11日	今年度の実施事項の確認・振り返りシートの作成 認知症を知る月間（家族介護者支援講座等）に関する検討
2	令和元年6月11日	認知症を知る月間（家族介護者支援講座等）に関する検討 「オレンジ広場」一覧の作成・オレンジ広場交流会の企画
3	令和元年7月31日	認知症を知る月間（家族介護者支援講座等）に関する検討 医療連携型認知症カフェと地域の連携についての検討 オレンジ広場交流会の企画・認知症ケアパスの改訂について
4	令和元年10月11日	認知症を知る月間（家族介護者支援講座等）に関する振り返り オレンジ広場交流会の企画・認知症ケアパスの改訂について
5	令和元年12月12日	オレンジ広場交流会の振り返り・認知症ケアパスの改訂について
6	令和2年1月21日	今年度の実施事項の振り返り・振り返りシートの作成

【オレンジ広場交流会の様子】



令和2年度に向けた課題

- ・当事者や家族の声を直接市民に届けられる機会を、イベント等に組み込むよう検討する。
- ・オレンジ広場の基準について検討する。
- ・医療連携型認知症カフェとオレンジ広場の連携方法等を検討する。
- ・認知症ケアパスがより効果的に機能するツールとなるよう改訂する。

2) 市民啓発部会

平成 30 年度からの課題

- ① 若い世代や無関心層に向けた市民啓発講座の企画・実施
- ② 市民キャラバン・メイト活用に向けた支援
- ③ 認知症サポーター養成講座・ステップアップ講座受講者が地域で活動できる為の環境整備

平成 31 年度 取組み内容

平成 31 年度 取組みの柱

市民に対する認知症・虐待防止等の理解促進

① 認知症市民啓発講座の実施・協力(認知症を知る月間)

〔意図〕 多世代が、認知症について関心を持って、理解を深めている。

〔成果〕 オレンジフェスに多世代の参加（130 名）あり。アンケートからも認知症への関心が高まったことが伺えた。青少年への関わりとしてののちくんやけん玉等体験ブースで啓発することができた。

② 市民キャラバン・メイトの育成

〔意図〕 市民キャラバン・メイトが認知症サポーター養成講座等に関わっている。

〔成果〕 市民キャラバン・メイト報告会を開催したことで、認知症地域支援推進員や地域包括支援センター職員との顔の見える関係性ができ、今まで活用したことがない包括が市民キャラバン・メイトを活用した。市民キャラバン・メイトの活動を全地域包括支援センターが把握できるようフィットの掲示板で周知できる仕組みを構築した。

③ 認知症サポーターの活用体制の構築

〔意図〕 認知症サポーター養成講座・認知症サポーターステップアップ講座受講後に地域での活動に興味を持っている。

〔成果〕 認知症を知る月間のイベントコーナーでは市民キャラバン・メイトによるブースを出展し活躍の場を広げた。GH豊かな里での認知症サポーター養成講座・同ステップアップ講座を開催し、受講後に市民キャラバン・メイトに関心を示す方に対して、今後の活動に協力が得られる体制ができた。

④ 高齢者虐待防止啓発

〔意図〕 高齢者虐待の正しい知識を得て、理解を深めている。

〔成果〕 認知症を知る月間の期間中、市役所・イオンモール多摩平の森にてパネル展示のみならず、認知症サポーター養成講座においても幅広く啓発した。また、日野市新任職員に対する認知症サポーター養成講座においても周知を行った。

専門部会の開催実績		
回	開催日	主な議題
1	平成31年4月8日	スケジュール・取組み内容の確認／「認知症を知る月間」についての意見出し／市民キャラバン・メイト報告会について
2	令和元年6月4日	「認知症を知る月間」について進捗確認・パネル内容(高齢者虐待等)へ意見出し／市民キャラバン・メイト報告会の内容検討
3	令和元年8月5日	「認知症を知る月間」について進捗確認／市民キャラバン・メイト報告会の振り返り
4	令和元年10月7日	「認知症を知る月間」の振り返り／「豊かな里」認知症サポーター養成講座・ステップアップ講座開催最終確認
5	令和元年12月11日	「豊かな里」認知症サポーター養成講座・ステップアップ講座の振り返り／今年度の振り返り／次年度検討事項の確認
6	令和2年1月27日	今年度の振り返り／次年度検討事項の確認

【キャラバン・メイト報告会の様子】



【グループホーム豊かな里での交流会の様子】



令和2年度に向けた課題

- ① 市内全域の住民がイベントに参加できる仕立てを構築する。(イベント参加者の居住地域を把握し、参加者の少ない地域にアプローチする仕組みの構築)
- ② 全地域包括支援センターの生活圏域で市民キャラバン・メイトの活用を促進する。
- ③ 認知症サポーター養成講座・ステップアップ講座が市民キャラバン・メイトにつながる環境整備。市民キャラバン・メイト報告会を継続し、市民キャラバン・メイトの主旨を理解してくれる人を発掘する。チームオレンジにつながる仕組みを検討する。

3) 多職種連携推進部会

平成 30 年度からの課題

- ・システム変更により減少した SOS ネットワークのメール登録者数を増加させる方法を検討する。
- ・虐待事案連絡会に関して、適切な関係機関が参加できるように開催方法等を検討していく。

平成 31 年度 令和元年度 取組み内

平成 31 年度・令和元年度 取組みの柱 関係機関のネットワーク構築

① 多職種連携研修

〔意図〕・顔の見える関係ができていく。・対応力が向上している。

〔成果〕・市内小売店が研修に参加することで、包括やケアマネジャーと顔の見える関係が構築できた。また、市内小売店と専門職がグループワークを行ったことで、互いの業務や認知症高齢者に関する課題を確認することができた。小売店が高齢者に関する困りごとの連絡先として包括を認識することができた。

・研修後のアンケートでは、9割以上の参加者から「地域連携の必要性を感じた」、小売店から「連携先の確認をすることが出来た」との回答を頂いた。

② 徘徊高齢者への支援策の充実

〔意図〕・SOS ネットワークの周知ができていく。・支援策の利用促進ができていく。

〔成果〕 SOS ネットワーク事業を認知症サポーター養成講座、認知症を知る月間などで周知を実施。しかし、市民のメール登録者は微増に留まった。今後も広く市民に周知を行っていく必要がある。

③ 虐待事案連絡会の開催

〔意図〕・高齢者虐待における関係機関ネットワークの強化を図る。・関係者の虐待対応スキルの向上を図る。

〔成果〕 今年度は大きめの会場にて開催。そのことで地域包括支援センター職員も 24 名参加できた。アンケートでも「警察と連携しやすくなった」との回答がほとんどであり、連絡会を行ったことで「警察へ相談するタイミング」や「お互いの役割」などを理解できたというコメントが多く、ネットワークの強化が図れた。今後も継続しての開催が望まれる。

専門部会の開催実績		
回	開催日	主な議題
1	2019年4月5日	評価シート、高齢者虐待に関する連絡会について/多職種連携研修について
2	2019年5月28日	高齢者虐待に関する連絡会：事例の精査について
3	2019年6月27日	高齢者虐待に関する連絡会：プログラムについて
4	2019年8月9日	高齢者虐待に関する連絡会：最終調整/SOS ネットワーク事前登録者のモニタリングについて
5	2019年9月18日	高齢者虐待に関する連絡会：アンケート集計・振り返り 多職種連携研修：研修対象の選出について
6	2019年10月23日	多職種連携研修：開催概要・アンケート内容等について
7	2020年1月15日	多職種連携研修：最終調整/2019年度多職種連携推進部会の振り返りについて

〈令和元年度高齢者虐待に関する連絡会〉



〈令和元年度多職種連携研修〉



令和2年度に向けた課題

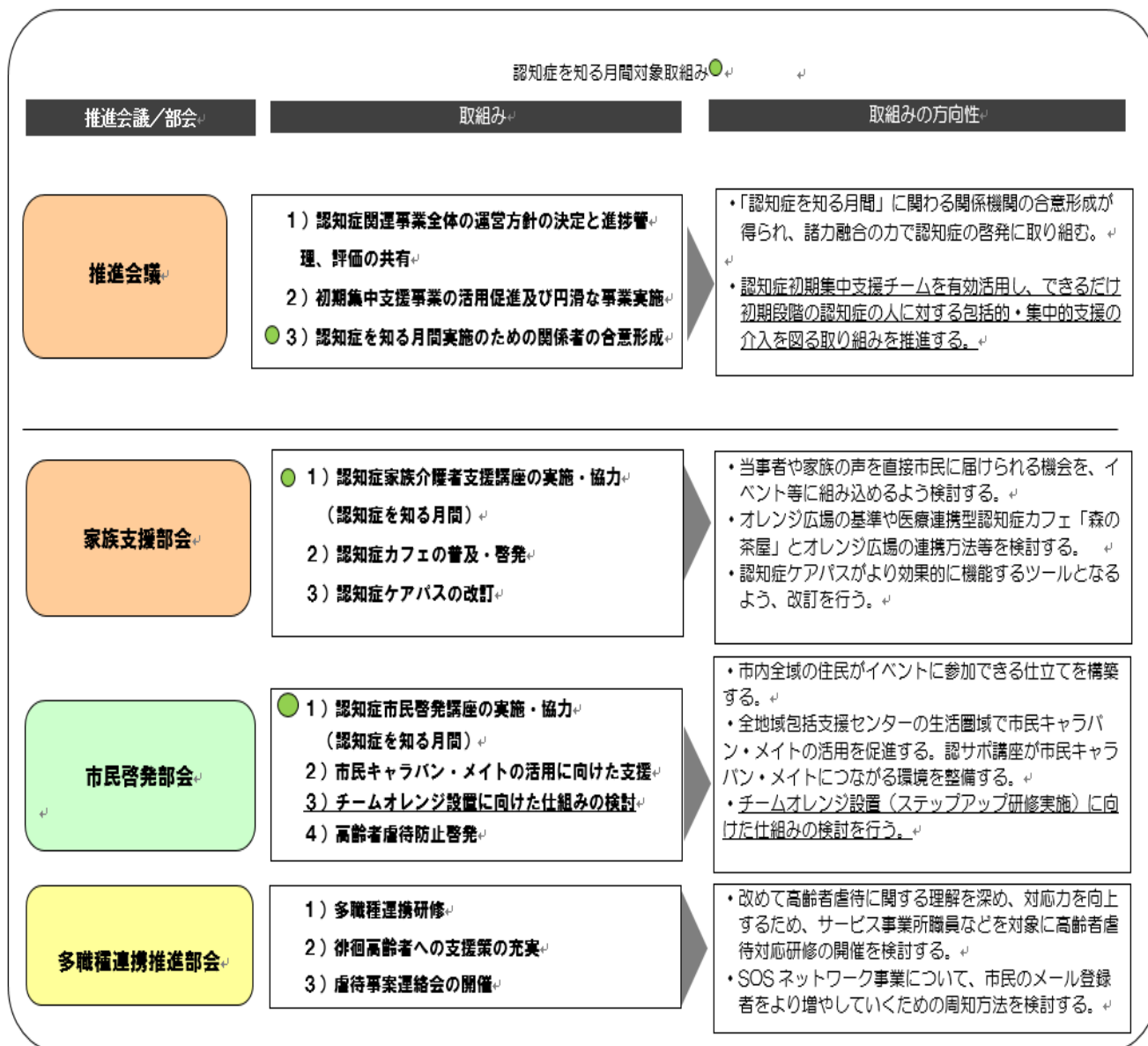
- ・多職種連携研修について、これまで交通機関、銀行、小売店などとの連携を深める目的で研修を開催。今後は改めて高齢者虐待に関する理解を深め、対応力を向上するためにケアマネジャー、サービス事業所職員などを対象に高齢者虐待対応研修の開催を検討する。
- ・SOS ネットワーク事業について、市民のメール登録者をより増やしていく必要がある。そのため、今後の周知方法の検討を行う。

（５）次年度の事業の方向性

平成31年度・令和元年度の認知症高齢者支援（高齢者虐待防止対策）事業について、「認知症になっても、本人とその家族が必要な支援を受け、その人らしく生きられる」という目指す姿の実現に向け、3つの専門部会ごとに方針を定め、全部で10の取組みを進めてきました。

令和2年度の方向性として、第3期日野市高齢者福祉総合計画（平成30年～平成32年）に基づき、認知症支援の体制に加えて、MCI（軽度認知障害）の当事者とその家族に対する支援を更に深化させた内容で各取組に取り入れることとしています。

■次年度の方向性（案）

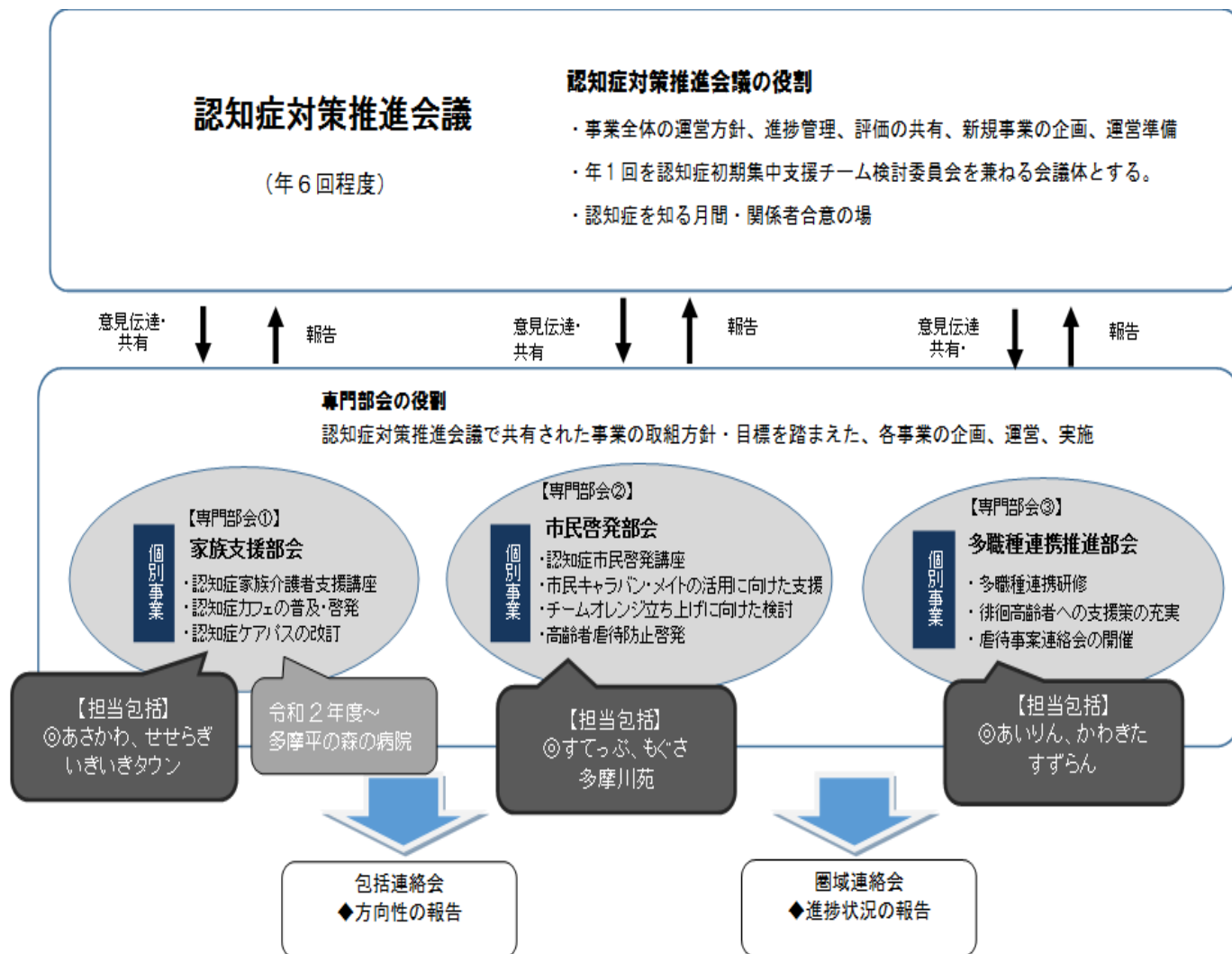


■次年度の運営体制

認知症対策推進会議＋部会制

認知症対策推進会議は、日野市の認知症施策を推進するための協議検討の場です。年6回程度の開催のうち、年2回を「認知症高齢者支援（高齢者虐待防止対策）事業」の方向性の決定、評価にあてます。

構成員：各包括の認知症地域支援推進員



【資料編】

(1) アンケート結果

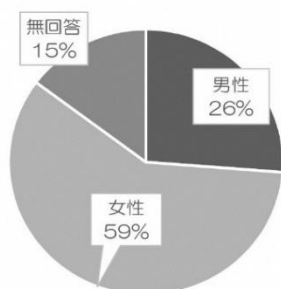
1) 認知症市民啓発講座「オレンジフェス」アンケート

【開催日時】令和元年度 9月8日(日) 10:30~14:00(会場 10:00)

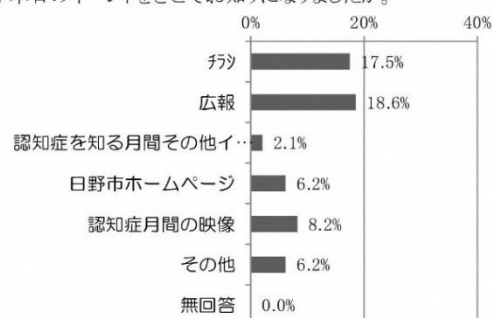
【開催場所】イオンモール多摩平の森 3F イオンホール

【アンケート回収率】参加者数：130人 回収率：61枚 回収率：46.9%

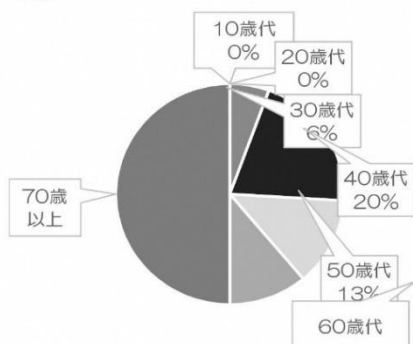
1. あなたご自身にお聞きます性別



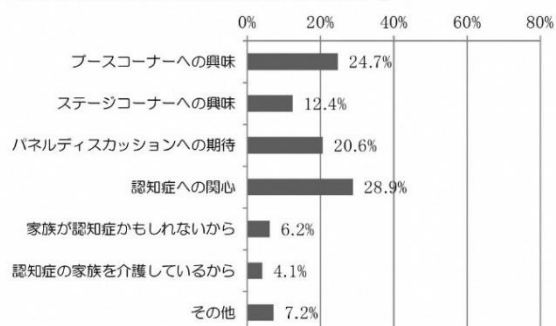
2. 本日のイベントをどこでお知りになりましたか。



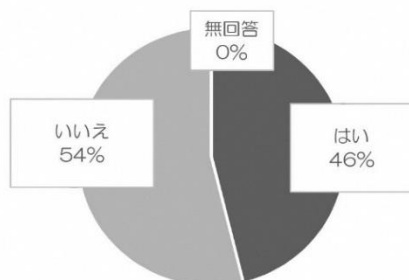
年齢



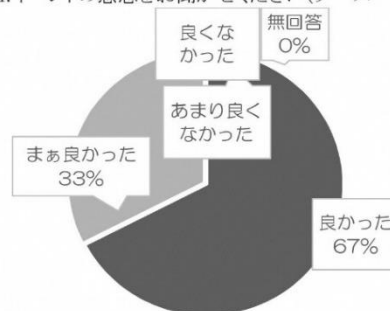
3. 本日参加された動機をお聞かせください。



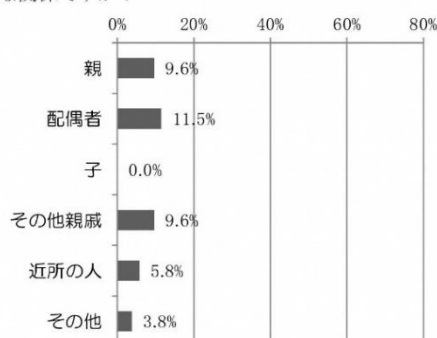
あなたの身近に認知症の方はいらっしゃいますか



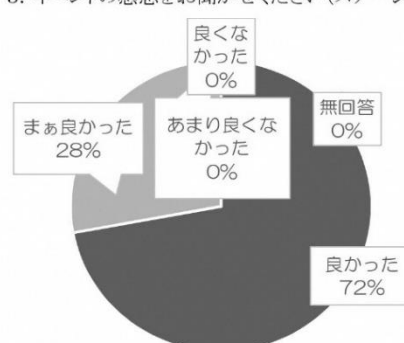
4. イベントの感想をお聞かせください(ブースコーナー)



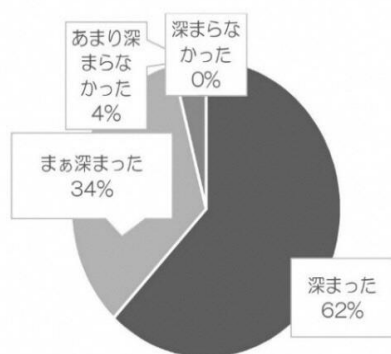
(「はい」を選んだ方のみ回答) その方はあなたから見てどのような関係ですか？



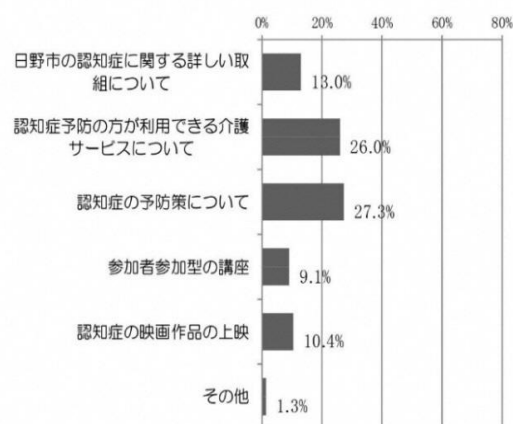
5. イベントの感想をお聞かせください(ステージコーナー)



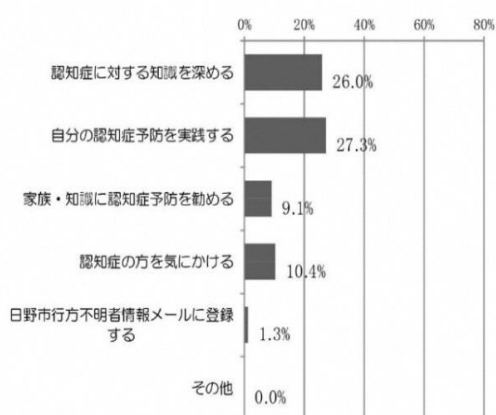
6. イベントを通じて、認知症への関心は深まりましたか？



8. 今後どのような内容の講座を希望しますか。



7. この講座を通じて何かをしてみたいと思いましたか？



【コメント】

- 年齢分布は 60%以上が 60 歳以上
- カウントされていないが子供が来場しているので、10 代から幅広く来場
- 多くの参加者は日野市が用意した広報手段を使って参加
→特にチラシと広報が多い。今年の大きな紙面が成果
→サイネージの効果は 100%イオンモール
- 半分以上は新しい参加者かつ、50%以上が「身近に認知症の人がいない」人々（＝無関心層）
→ターゲットとする層が呼び込めたのでは
- 56%はイベントの内容についての期待、27%は認知症への関心
→8 割以上の来場者は何らかの期待を込めて参加
- アンケート提出者の 100%が「良かった」「まあ良かった」と回答した
→来場した参加者には十分な価値を提供することができた
- 来場者の 96%は認知症について「深まった」「まあ深まった」と回答した
認知症無関心層に対する認知症を「知る・深まる」は一定の成果に達したと理解できる
- 今後のアクションについて、実に 99%の人が、ポジティブなアクションを起こそうと認識
→フェスで学んだことからアクションをおこす意思まで広がっている
→テーマとしていた「認知症の予防」についても高い関心を示されていた
- 今後の取り組み希望についても、認知症を「深める」ことを目的にした希望が目立った

自由記述コーナー

<ブースコーナー>

・骨密度、血管年齢測定が良かったです
・福祉カフェテリアの数字オセロよかったです
・初めて来たけど、いろいろ考えて下さって良いと思います。
・にのいの体験をしました。楽しかったです。何でその体験をしたのか説明がなく残念でした。 (認知症と関係あるの?)家に帰ってパンフレット読んでみます。
・認知症について人とかかわり方を知りたかったから
・にのいの検査ありがとうございました。
・予防のための日常に注意したい

<ステージコーナー>

・けん玉がすごく良かった。認知症のことに結びついていたのが良かった
・のっちのダンスはキレがありカッコよかったです。
・けん玉素晴らしかったです。小さい子が頑張っているのが良かったです。
・ブースにいとステージがうるさく感じる。パネルディスカッションがステージコーナーの一部として扱われているのは、先生方に失礼ではないか。 いすを並べるにも通路が作ってないので中央の席が空いていても入れない。扉を閉じていないので外の声が入ってきて話が聞き取りにくい。
・上手だった
・よくわかる
・けん玉、パネルディスカッションが良かった
・世界のけん玉ありがとうございました。
・これまでの知識(他人との関りが重要)というのを再確認できた。

関心の深まり

・広く市民の方に認知症を知ってもらうこと、イベントは重要なことだと思いました
・所要があり帰りました
・わかっているができない
・正木先生の話がとても分かりやすく参考になりました。ありがとうございました。

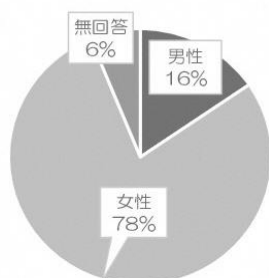
その他意見・感想

・とても良い事だと思います。

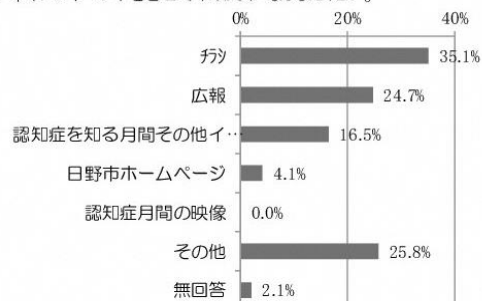
2) 認知症家族介護者支援講座 アンケート

【開催日時】令和元年9月21日（土） 13:30～15:30（開場 13:00）
 【開催場所】日野市七生公会堂
 【アンケート回収率】参加者数：109人 回収率：97枚 回収率：88.9%

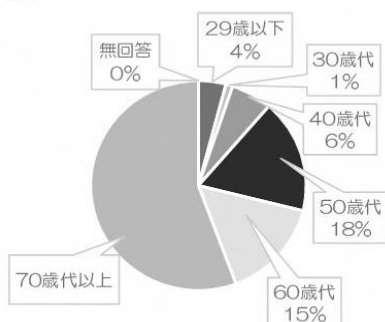
1. あなたご自身にお聞きます
性別



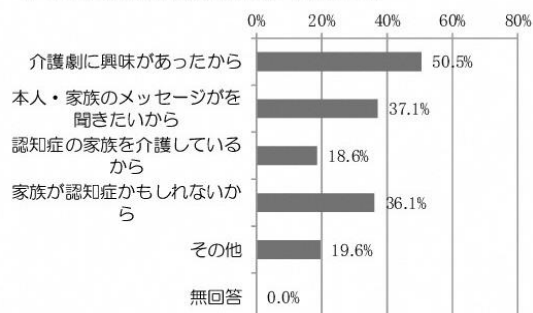
2. 本日のイベントをどこでお知りになりましたか。



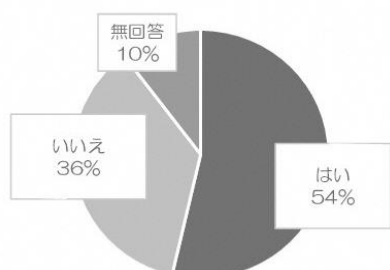
年齢



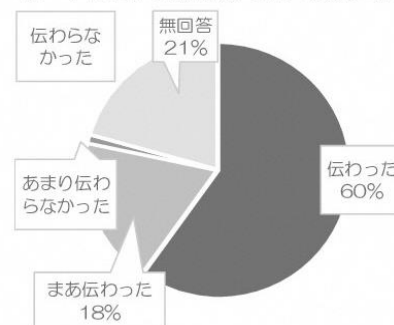
3. 本日参加された動機をお聞かせください。



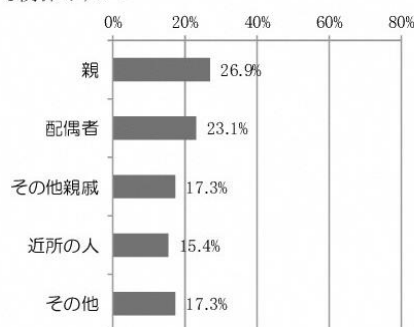
あなたの身近に認知症の方はいらっしゃいますか



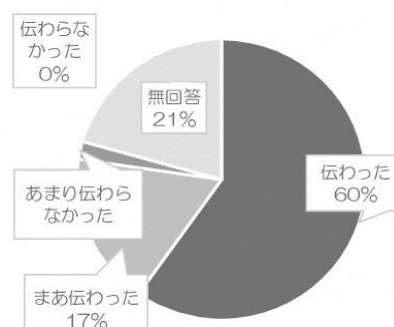
4. イベントを通じて、認知症当事者や家族の思いは伝わりました。



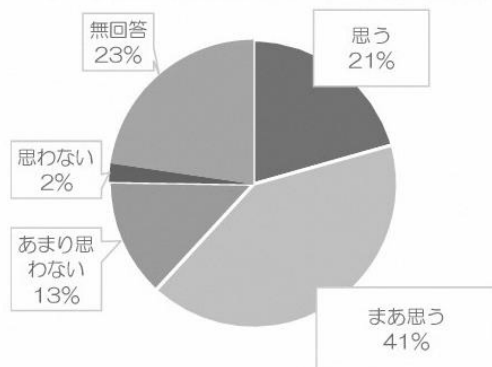
（「はい」を選んだ方のみ回答）その方はあなたから見てどのような関係ですか？



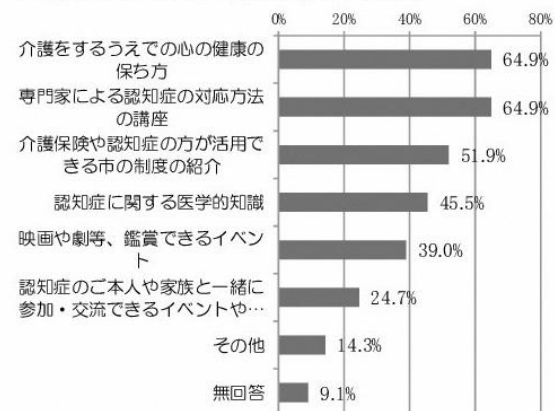
5. イベントを通じて、周囲の理解や協力を得る大切さが伝わりましたか。



6. イベントを通じて、認知症に対しての不安が軽減され
 つか。



7. 今後どのような内容の講座を希望しますか。



8. イベント後の感想、その他ご意見をお聞かせください。

- ・当事者と家族のリアルな話が勉強になりました。一般の人たち(若い人たちにも)にも是非広めていきたいと思います。
- ・大変良かったです。
- ・できる事なら正常の状態に戻せないものかと毎日念じて居ります。
- ・良かった 心に伝わった
- ・一部の講座の時間をもう少し長く取れたらいいと思いました。
- ・本当の役者さんのように上手でした
- ・たなごころ最高！！
- ・本日は大変ありがとうございました。素晴らしい劇で感激致しました。
- ・本人、家族の思いの大切さを学びました。
- ・心によりそうこの努力がいかに大切か、心に思います
- ・たなごころのドラマとてもよかったです。
- ・気がつかない事 気づかせてもらいました
- ・今日の劇は、介護者の大変さや本人の気持ちがよく出ていて考えさせられました。
- ・とても安心しました。勉強になりました。ありがとうございました。
- ・目と顔を合わせて話す。あらげた声はいけないなど勉強になりました。
- ・とてもポイントをおさえて分かり易い内容でした。もっと多くの方に見る機会があるといいですね。
- ・やっぱり不安はありますが、一人じゃないという事がわかりました。
- ・本日はありがとうございました。
- ・現実の大変さを実感しました。
- ・身内に認知症の方がいるのですが、少しでも介護者の気持ちが理解できればと思い参加しました。とても勉強になりましたし、地域、周りの方々の協力も大切だなと思いました。
- ・介護を取り巻く現状をお芝居でみせていただきわかりやすく良かったと思った。今春、特養に入所していた義母を送りました。職員さん、関係者の方々には感謝しかありません。皆さん、お体に気をつけてがんばって下さい
- ・認知症の方に寄り添って生きる事はかなり難しいと思います。良い劇を見せていただきました。自分にはできるかわからないと思いますが…
- ・一部の音量が小さいためききとれないことが多かった。
- ・一部のお話も3人3様が入ってなくてよいお話でした。劇も親しみやすく心に響きました。
- ・とても素晴らしい劇でした。みなさん一人一人が心がこもった役をしていらっしかったです。本当に介護するのは大変だと思いました。ありがとうございました。
- ・ありがとうございました。
- ・実際にあったケースの劇で身につまされる内容だった。もっと沢山の人のみてほしかった。
- ・とても良かったです。
- ・あまり知られていない劇団で周知も大変だったと思いますが、引き続きこのような内容の濃い企画をしてください。劇は心に与えるものが大きいです。
- ・認知症サポーター養成講座は包括ごとに実施されているため情報が入りにくい。年間スケジュールを包括ごとに出すか市の広報でのお知らせを希望。自分の地区の包括で開催される場所が行きやすい場所とは限らない。機会があれば受けたいと思っている人は多い。

- ・認知症のやすこさんの演技が特に上手でした。他の皆さんも板について素晴らしかったです。
- ・姉の状態と似ていることがあり、どの様につきあっていくかを考えるうえで参考になりました。
- ・もっともっとはばを広げて、もっともっ沢山の方に知ってほしいと思う。(認知症について)
- ・資料がばらばらで見づらい。認知症の当事者、フジエダさんの話が一番為になった。当事者の介護する側と気持ちの差があるなと思った。→フジエダさんの「特に困っていない」の発言、マノさんの大変だった経験談。 オレンジ広場やメール配信のお知らせのせつめいのときに「この資料を見て下さい」と言われて、入口で渡された沢山の書類からバツと見つけるのは難しい手間。認知症当事者は「介護が大変」なんて話をきいてどんな気持ちなんだろうと思った。
- ・とてもよかったです。
- ・初めて参加したが大変よかった。
- ・認知症を知る月間があることを6年目にて初めて知りました。必要性が出てきて情報が入るのですが、広報などで大きく取り上げてもらったことで知ることができました。
- ・認知症について多少なりとも理解しました。
- ・一部はコンパクトにまとめられ、特に当事者の方の実話は良かった。6のアンケートは安易すぎるように思う。そんな簡単に軽減されるようなものではない。反対にこれで大丈夫などと思ってほしくない。実際にはかなり大変なことである。
- ・今回は本人家族の方 当事者…大変軽い内に対処したのか当事者とは思えませんでした。家族…実際当事者との生活面にあり得る事であらうと思えました。
- ・認知症のご主人を介護していらっしゃる方にご存知と思いますが、オレンジカフェのことをお知らせしたい気持ちになりました。すごい劇団だとおもいました。ありがとうございました。
- ・今日の劇を見て、認知症に対する考え方、見方が少し変わった様に思う。 劇はとても良かった。
- ・認知症のイベントに初めて参加しました。義母が介護施設に入っています。もう家には戻れず特養に移らなければなりません。憂鬱な気分では何か解決するヒントがないかとこのイベントに参加しました。少し前向きに考えようと思いが変わりました。ありが
- ・今回はとても分かりやすく見る事が分かりありがとうございました。

3) 多職種連携研修

多職種連携研修 アンケート結果

【アンケート回収状況】

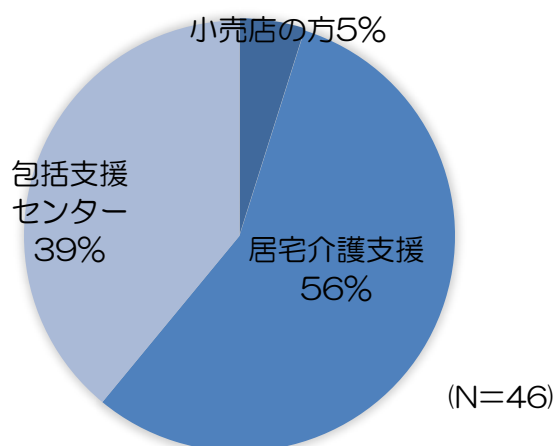
「認知症高齢者を支える地域の連携について」

令和2年1月30日 参加人数：58名

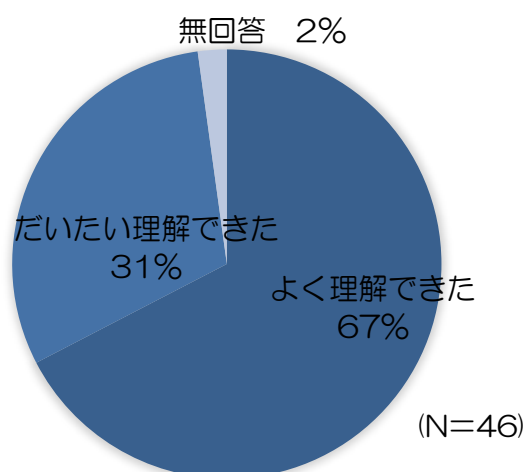
(小売店3名、多摩若年性認知症総合支援センター1名、CM30名、行政4名、包括20名)

アンケート回収数：46枚 回収率：85.2% *行政職員4名はアンケート対象から除く

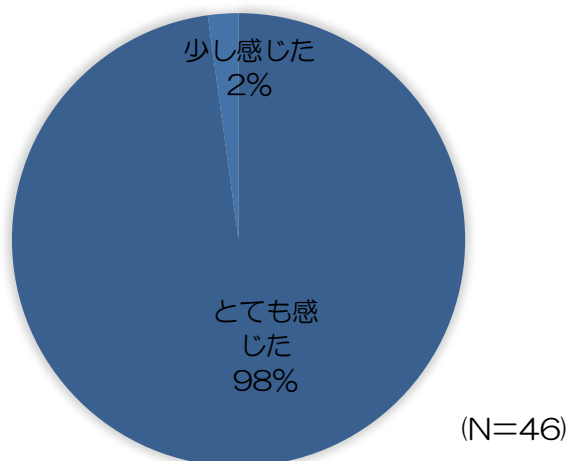
①所属



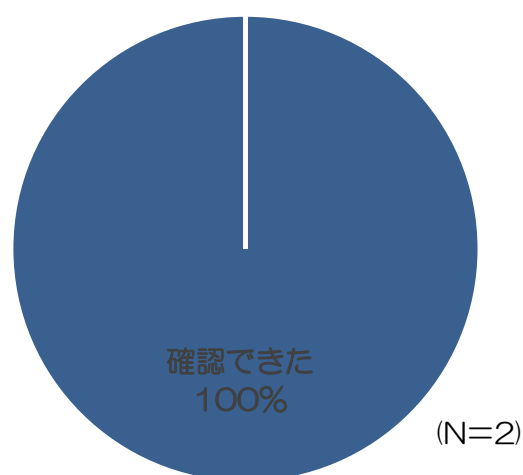
②認知症高齢者に関する市内の現状を理解できましたか。



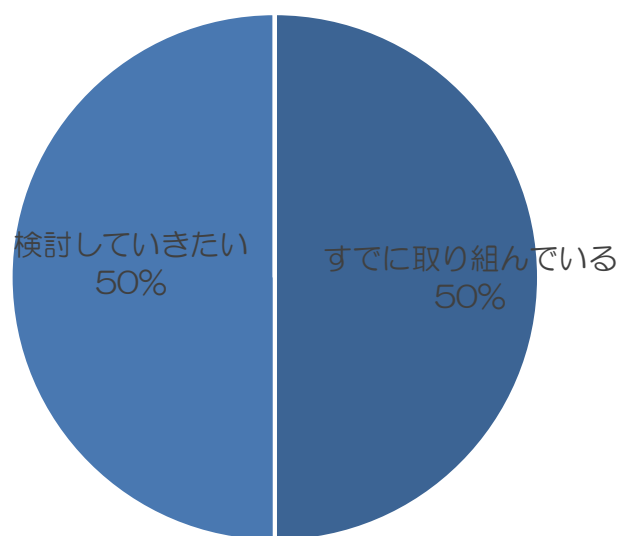
③地域で暮らす高齢者を支えるための地域の連携について必要性を感じましたか。



④高齢者の異変に気付いた場合の連携先を確認できましたか。【小売店の方のみ】

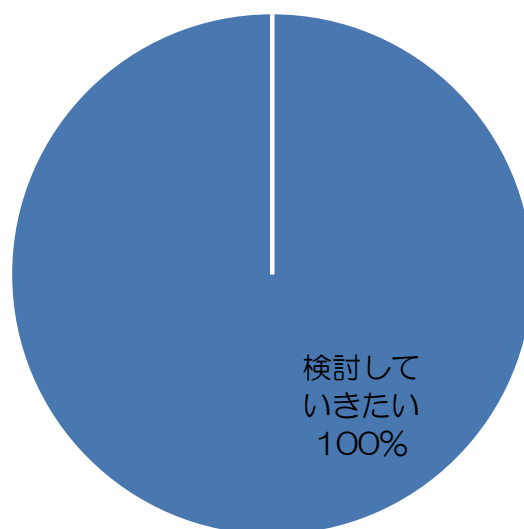


⑤市では認知症についてより理解するために、認知症サポーター養成講座を開催しています。貴事業所での開催の検討は可能ですか。【金融機関の方のみ】



(N=2)

⑥市では事業所に対し、業務を通じて高齢者の問題や異変を早期に発見し、地域包括支援センターに連絡する「見守り協力事業所」の登録を推進しています。この機会に登録の検討は可能ですか。【金融機関の方のみ】



(N=2)

(2) 認知症家族介護者交流会実施実績

	開催日	参加人数	参加人数 (内訳) 家族→家 オブザーバー→オ	内 容
【たかはた圏域】 (5回) ※3月は新型コロナの影響で開催中止				
1	5/15 (水)	14	家: 9名 オ: 5名	懇談会
2	7/10 (水)	9	家: 7名 オ: 2名	懇談会
3	9/4 (水)	11	家: 8名 オ: 3名	懇談会
4	11/6 (水)	9	家: 8名 オ: 1名	講座・意見交換
5	1/15 (水)	6	家: 3名 オ: 3名	懇談会
【ひの圏域】 (6回)				
1	4/18 (木)	9	家: 9名 オ: 0名	茶話会
2	6/20 (木)	8	家: 7名 オ: 1名	茶話会 (多摩平の森の病院の役割について)
3	8/15 (木)	9	家: 9名 オ: 0名	茶話会
4	10/17 (木)	8	家: 8名 オ: 0名	茶話会
5	12/19 (木)	11	家: 10名 オ: 1名	茶話会
6	2/20 (木)	5	家: 5名 オ: 0名	茶話会
【とよだ圏域】 (5回) ※3月は新型コロナの影響で開催中止				
1	5/10 (金)	15	家: 13名 オ: 2名	茶話会
2	7/12 (金)	4	家: 3名 オ: 1名	茶話会
3	9/13 (金)	6	家: 4名 オ: 2名	茶話会
4	11/8 (金)	7	家: 7名 オ: 0名	茶話会
5	1/10 (金)	2	家: 1名 オ: 1名	茶話会
【ひらやま圏域】 (9回) ※3月は新型コロナの影響で開催中止				
1	4/17 (木)	3	家: 2名 オ: 1名	家族介護者の意見交換
2	5/16 (木)	2	家: 1名 オ: 1名	家族介護者の意見交換
3	6/19 (水)	5	家: 3名 オ: 2名	家族介護者の意見交換
4	7/18 (木)	16	家: 8名 オ: 8名	おむつ選ぴや排泄ケアについての講演
5	9/19 (木)	3	家: 1名 オ: 2名	家族介護者の意見交換
6	10/16 (水)	2	家: 1名 オ: 1名	家族介護者の意見交換・災害時の避難行動について
7	11/21 (木)	0	家: 0名 オ: 0名	
8	1/16 (木)	4	家: 3名 オ: 1名	家族介護者の意見交換
9	2/19 (水)	8	家: 7名 オ: 1名	成年後見制度の活用術について

(3) 日野市の虐待受付状況

養護者による虐待(単位：件・人)

		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
相談・通報受理件数 (受理件数の内、夫婦件数)		35 (3)	24 (2)	30 (1)	19 (1)	40 (1)	42 (2)	41 (3)	49 (0)	57 (1)	38 (1)
当該年度以前からの継続対応件数							14 (0)	24 (2)	20 (2)	31 (1)	28
虐待認定件数		35 (3)	24 (2)	30 (1)	19 (1)	26 (0)	32 (2)	28 (3)	35 (0)	44 (1)	36 (1)
虐待の種別・類型 (重複有)	身体的虐待	24	18	19	10	17	20	15	20	30	24
	介護・世話の放棄、放任	2	7	6	5	4	5	5	7	3	3
	心理的虐待	20	15	8	3	11	13	15	16	25	18
	性的虐待									0	0
	経済的虐待	8	7	6	7	7	10	5	7	5	5
	セルフネグレクト						1	1		2	4
被虐待者性別	男 性	8	6	8	2	4	12	9	5	12	13
	女 性	30	20	23	18	22	22	22	30	33	24
	合 計	38	26	31	20	26	34	31	35	45	37
被虐待者の年齢	64歳以下	1	1			1				1	0
	65～69歳	5	3	1			2	3	3	8	2
	70～74歳	3	5	4	5	3	4	5	5	3	8
	75～79歳	12	4	4	5	7	6	4	12	8	10
	80～84歳	10	6	12	8	5	13	9	12	11	9
	85～89歳	5	4	4	1	6	8	8	2	10	3
	90歳以上	2	3	6	1	4	1	2	1	4	5
	合 計	38	26	31	20	26	34	31	35	45	37
被虐待者から見た 虐待者の続柄 (重複有)	夫	11	7	5	6	5	7	5	16	12	9
	妻	1	3	4		2	1	2	3	2	3
	息子	14	7	13	9	10	13	13	9	15	13
	娘	9	4	7	3	4	8	11	6	9	4
	息子の配偶者(嫁)		1		1					0	0
	娘の配偶者(婿 内縁を含む)	1								0	0
	兄弟姉妹	1				1	1		1	0	0
	孫	1	2	1		2	1			2	1
	その他									4	3
不明(特定できず)		1				2	3			0	0
事実確認中										3	2

施設従事者による虐待(単位：件・人)

		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
相談・通報受理件数					3	3	4	6	10	3	2
虐待認定件数					3	2	2	1	6		0
業種別	居宅介護支援事業所										
	訪問介護				1		1	1			
	通所介護						1		1		1
	特別養護老人ホーム				1	1			4		
	ショートステイ										
	介護老人保険施設					1					
	小規模多機能				1						1
	グループホーム										
虐待の種別・類型 (重複有)	身体的虐待				1	1			3		
	介護・世話の放棄、放任								3		
	心理的虐待					2	1		2		
	性的虐待						1				
	経済的虐待				2			1	1		
事実確認中										3	

（４）日野市の徘徊対応状況

１）年度別

SOS ネットワーク事前登録者数及びメール配信登録者数（推計）

（単位：人）

	21年度末	22年度末	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末	27年度末	28年度末	29年度末	30年度末	R1年度末
事前登録者数	42	81	129	167	195	237	277	202	295	340	350
メール配信登録者数（推計）		2,120件	5,850件	5,910件	5,853件	6,836件	7,630件	8,638件	10,624件	1,686件	1770件

徘徊対応状況

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
徘徊者数(実人数)	人数	21	26	35	42	30	24	36	41	49	56	40
	性別	男性	10	14	16	19	12	15	11	19	20	15
		女性	11	12	19	23	18	9	25	22	29	25
	年齢	～69歳	0	2	6	1	1	3	2	1	2	0
		70～74歳	4	2	4	3	4	1	6	5	11	2
		75～79歳	5	9	10	19	10	10	8	12	9	11
		80～84歳	7	5	13	11	6	5	12	17	13	15
		85歳以上	5	8	2	8	9	5	6	10	17	12
延べ徘徊発生数	発生件数	31	31	52	50	41	32	45	49	68	85	56
	警察へ通報	13	20	38	30	34	26	29	37	51	50	40
	Eメール利用			10	9	16	15	12	18	25	22	23
	防災無線利用	2	5	1	3	0	1	0	2	2	0	1
発見数	合計	31	31	52	50	41	32	45	49	68	85	56
	1時間以内	12	7	19	13	4	8	12	6	19	15	6
	3時間以内	7	7	13	13	9	3	10	17	19	20	17
	6時間以内	0	3	8	6	7	7	4	6	17	23	5
	12時間以内	4	4	3	3	6	6	8	8	4	3	3
	24時間以内	2	2	2	6	10	2	3	4	4	4	5
	24時間以上	0	2	2	3	2	1	2	1	1	3	3
不明		6	6	5	6	3	5	6	7	4	17	17
発見できていない数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

２）地域包括支援センター別（平成 31 年度・令和元年度年度）

（単位：人）

		もぐさ	あさかわ	すてっふ	あいりん	せせらぎ	多摩川苑	いきいきタウン	すずらん	かわきた	計
徘徊者数(実人数)		7	5	1	6	2	4	0	10	5	40
性別	男性	3	1	1	2	0	2	0	5	1	15
	女性	4	4	0	4	2	2	0	5	4	25
年齢	～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	70～74歳	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
	75～79歳	2	1	0	0	0	1	0	3	4	11
	80～84歳	4	1	1	3	1	2	0	3	0	15
	85歳以上	1	2	0	3	0	1	0	4	1	12
延べ徘徊発生数		14	8	1	7	2	4	0	14	6	56
	警察へ通報	8	6	0	4	2	4	0	10	6	40
	Eメール利用	5	4	0	2	2	3	0	4	3	23
	防災無線利用	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
発見数		14	8	1	7	2	4	0	14	6	56
	1時間以内	1	1	0	2	0	0	0	1	1	6
	3時間以内	1	4	0	3	2	1	0	3	3	17
	6時間以内	2	0	0	1	0	0	0	2	0	5
	12時間以内	0	1	0	0	0	2	0	0	0	3
	24時間以内	1	2	0	0	0	1	0	0	1	5
	24時間以上	2	0	1	0	0	0	0	0	0	3
	不明	7	0	0	1	0	0	0	8	1	17
発見できていない数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(5) 認知症支援・虐待防止事業の取組み状況

	取組み	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31 R1
認知症高齢者支援	①認知症家族介護者交流会（専門相談会）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	②認知症サポーター養成講座	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	③認知症サポーターステップアップ講座					○	○	○	○	○
	④高齢者SOSネットワーク構築に向けた取組み		○		○	○	○	○	○	○
	⑤認知症予防啓発パンフレット		○		○	○	○			
	⑥認知症地域資源マップの作成	○	○	○	○	○	○	○		
	⑦認知症家族介護者支援講座	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	⑧認知症啓発講座	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	⑨多職種連携研修（※1）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	⑩関係機関連絡会	○	○	○						
	⑪認知症高齢者支援・高齢者虐待防止推進会議（※2）	○	○	○	○	○				○
	⑫認知症対策推進会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	⑬認知症ケアパスの作成					○	○	○		
	⑭認知症の早期発見・治療の仕組みづくりの検討					○	○	○	○	○
高齢者虐待防止対策	①高齢者虐待防止勉強会				○	○				
	②虐待防止啓発講演会	○								
	③虐待防止啓発		○	○	○	○		○	○	○
	④高齢者虐待に関する啓発パンフレットの作成			○		○				○
	⑤日野市高齢者虐待対応・防止マニュアルの作成等		○	○	○	○		○	○	○
	⑥日野警察署との虐待事案連絡会								○	○

※1 H25 までは介護サービス従事者研修として実施。

※2 H27 より認知症対策推進会議に名称・役割とも変更。

(ポスター)

41

さらっとウェット ティッシュ 10枚



(7) 認知症サポーター養成講座 開催実績

	実施日	対象者詳細	受講者数	包括名
1	5月29日	一般市民	3	すすらん
2	6月5日	一般市民	6	多摩川苑
3	6月11日	日野市第四中学校 1 学年	241	すてっぷ・かわきた
4	6月13日	居宅介護支援事業所 グラート	9	せせらぎ
5	6月19日	東部会館職員	8	多摩川苑
6	6月22日	一般公募型	11	とよだ圏域
7	6月29日	小規模多機能あすなろ・スタジオ オアクオ 職員	21	もぐさ
8	7月5日	一般市民(百草団地ふれあいサロン)	29	もぐさ
9	7月19日	一般市民(大和田地区センター)	10	かわきた
10	7月19日	一般公募型	16	せせらぎ
11	7月25日	一般市民(旭が丘南地区センター)	9	かわきた
12	7月30日	一般市民(平山交流センター)	10	いきいきタウン
13	8月1日	一般公募型(マザアス交流スペース)	15	多摩川苑
14	8月1日	新人市役所職員	25	かわきた
15	8月2日	市役所職員	16	いきいきタウン
16	8月5日	日野市第四小学童	37	多摩川苑
17	8月5日	日野市第四小学童 あおぞら	48	多摩川苑
18	8月8日	ほっとも南平	7	すすらん
19	9月13日	上田地区センター	29	多摩川苑
20	9月18日	一般市民(南平地区社協)	17	すすらん
21	9月19日	一般市民(ゆざわここからネット)	20	もぐさ
22	9月24日	サロン縁がわ	21	せせらぎ
23	10月7日	日野台高校 2 年 1 組	38	いきいきタウン
24	10月7日	日野台高校 2 年 6 組	38	かわきた
25	10月8日	日野台高校 2 年 5 組	35	せせらぎ
26	10月9日	日野台高校 2 年 7 組	39	あいりん
27	10月10日	日野台高校 2 年 2 組	39	もぐさ

28	10月10日	日野台高校 2年3組	39	すずらん
29	10月10日	デュオセー又豊田（職員）1回目	10	かわきた
30	10月11日	日野台高校 2年8組	37	あさかわ
31	10月11日	日野台高校 2年4組	40	多摩川苑
32	10月11日	みずほ銀行日野支店	19	すてっぷ
33	10月15日	日野高校 3年1組	38	あいりん
34	10月16日	日野高校 3年2組	38	多摩川苑
35	10月17日	日野高校 3年3組	38	すずらん
36	10月18日	日野高校 3年4組	35	あいりん
37	10月21日	日野高校 3年5組	39	あさかわ
38	10月22日	日野高校 3年6組	34	せせらぎ
39	10月23日	日野高校 3年7組	37	いきいきタウン
40	10月24日	日野高校 3年8組	39	もぐさ
41	10月24日	デュオセー又豊田（職員）2回目	9	かわきた
42	10月29日	みずほ銀行高幡不動店	15	あさかわ
43	10月31日	一般公募型 勤労青年会館	11	とよだ圏域
44	11月5日	実践女子大	86	あいりん
45	11月12日	みずほ銀行（正社員）	6	せせらぎ
46	11月12日	みずほ銀行（契約社員）	11	せせらぎ
47	11月13日	一般公募（高幡福祉センター）	9	あさかわ
48	11月20日	一般公募型（日野市立百草図書館）	9	もぐさ
49	11月21日	仲田小学校 4年生	68	ひの圏域
50	11月27日	明星大学 ボランティアセンター	18	あさかわ
51	11月30日	地域住民	4	市民啓発部会
52	12月11日	明星大学 人文学部福祉実践科	56	すずらん・あさかわ
53	12月24日	一般公募（新川辺地区センター）	5	すずらん
54	1月13日	一般公募（マザアス）	10	多摩川苑
55	1月26日	向島サロン	35	すずらん
56	1月30日	七生中学校3年生	157	すずらん
57	2月4日	実践女子大食生活科	46	あいりん
58	2月8日	第5小学校5年生	118	あいりん

59	2月12日	多摩平の森の病院	17	あいりん
60	2月21日	日野第二中学校1年生	164	とよだ圏域
61	2月21日	三沢中学校1年生	284	あさかわ
		計	2378	名

◆延べ受講者数（平成18年度～）：18,793人

（8）認知症サポーターステップアップ講座 開催実績

	実施日	対象者詳細	受講者数	包括名
1	5月14日	リハビリデイきりん職員	12	あいりん
2	6月6日	地域住民	11	あさかわ
3	6月13日	居宅介護支援事業所 グラート	9	せせらぎ
4	6月22日	一般公募型	11	とよだ圏域
5	7月19日	一般公募型	16	せせらぎ
6	7月29日	一般市民	16	かわきた
7	8月27日	一般公募型（マザアス日野）	9	多摩川苑
8	9月25日	一般市民（南平地区社協）	8	すすらん
9	10月16日	一般公募型（マザアス日野）	19	多摩川苑
10	10月17日	一般市民（ゆざわここからネット）	13	もぐさ
11	10月31日	一般公募型（勤労青年会館）	11	とよだ圏域
12	10月31日	一般公募（平山交流センター）	16	ひらやま圏域
13	11月30日	地域住民	6	市民啓発部会
14	12月12日	一般公募型（マザアス日野）	10	多摩川苑
15	12月18日	地域住民	7	あさかわ
16	2月10日	図書館職員向け（中央図書館）	23	すてっぷ
17	2月11日	一般公募型（マザアス日野）	26	多摩川苑
		計	223	名

◆延べ受講者数（平成27年度～）：1,002人

平成 31 年・令和元年度認知症高齢者支援（高齢者虐待防止対策）事業
実施報告書

発行年月 令和 2（2020）年 3 月

企 画 日野市健康福祉部高齢福祉課
〒191-8686 東京都日野市神明一丁目 12 番地の 1
電話 042-514-8496（直通）